

令和7年シラス曳網調査結果 (第5報)

令和7年6月4日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

6月2日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 30m)、
141-10E(水深 39m)、141-15E(水深 55m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

14.1°C~17.0°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0~535 尾 (合計 537 尾)

今回のシラス採集数は前回調査時 (5月27日、2~133尾、合計142尾) と比較し、増加しました。

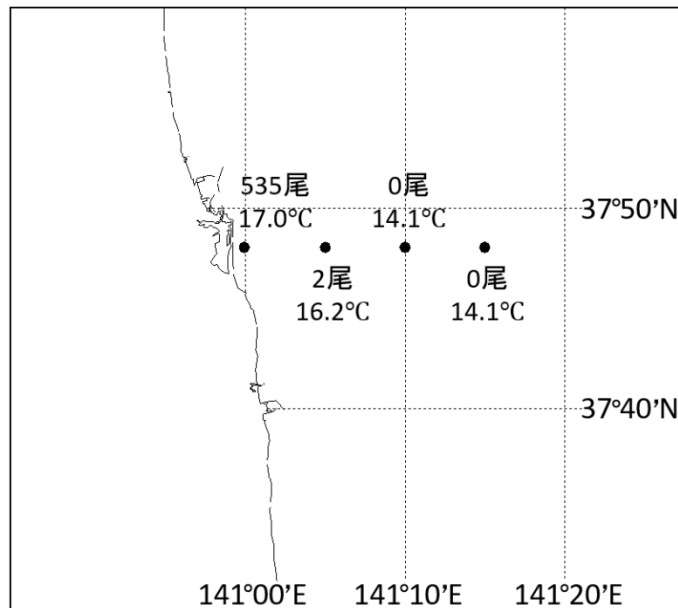


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：18.1～46.7mm

141-00E、141-05E で全長 38mm 前後の群のシラスが採集されました。

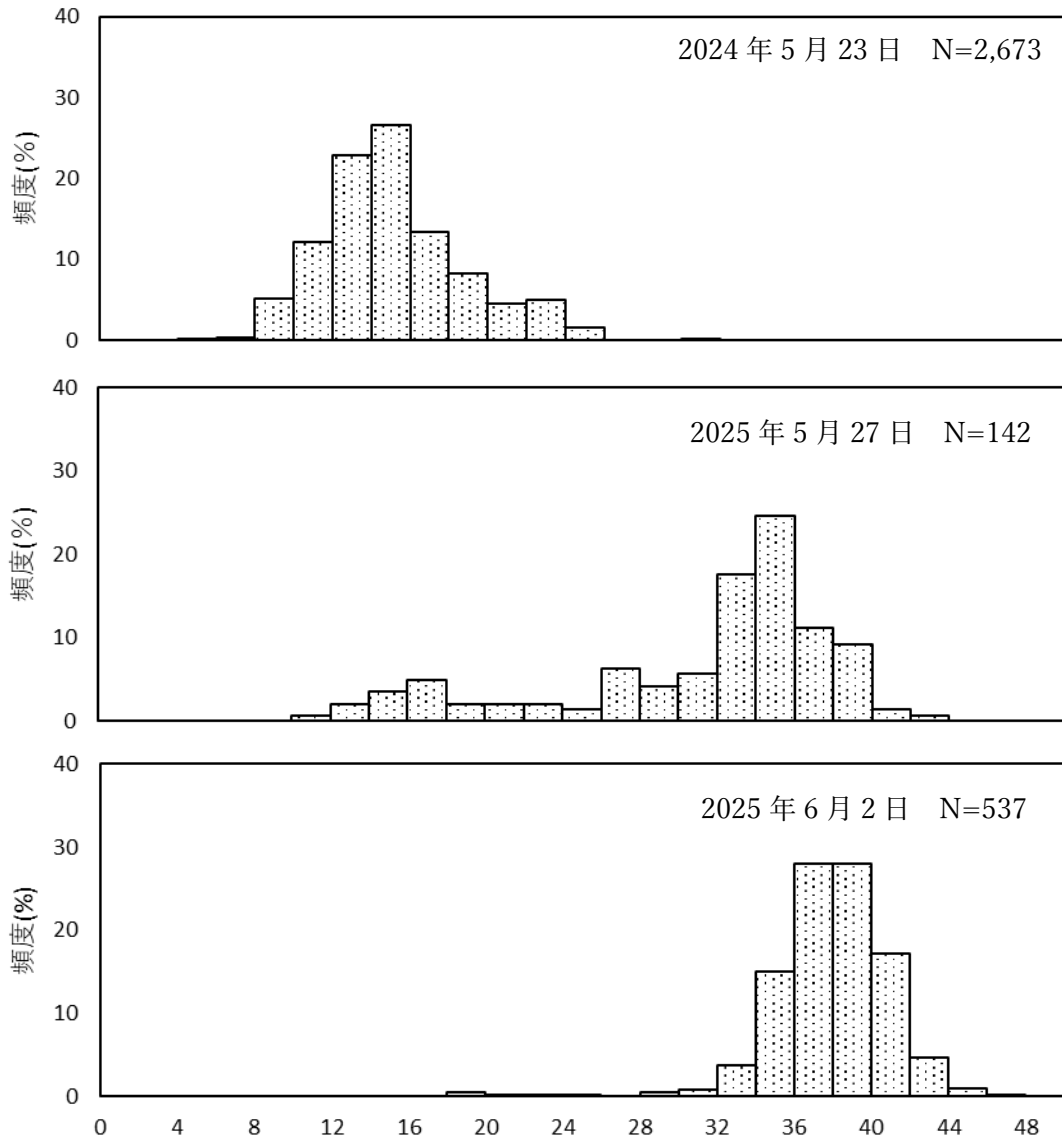


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和7年6月のシラス採捕数は平成18年以降で4番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年は1月にいわき地区で約6t、相双地区で約36tの水揚げがありました。

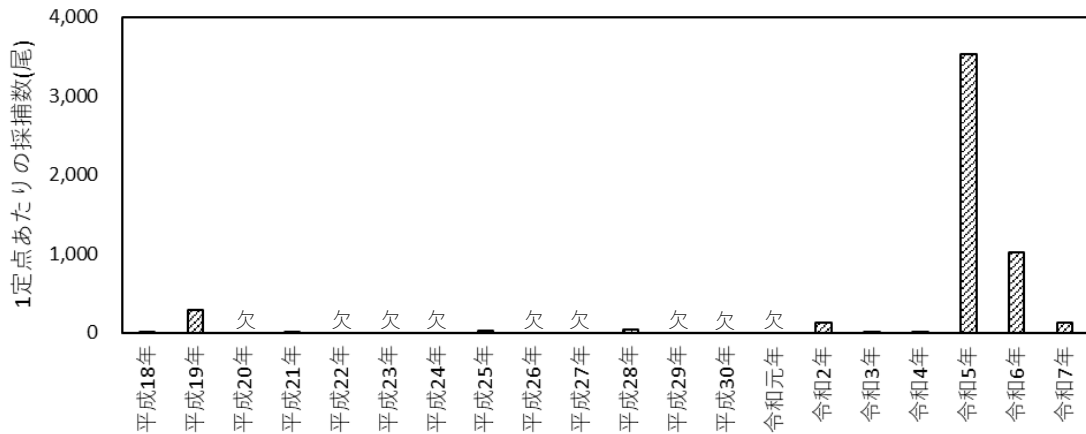


図3 相馬海域における6月の1地点あたりの採捕数

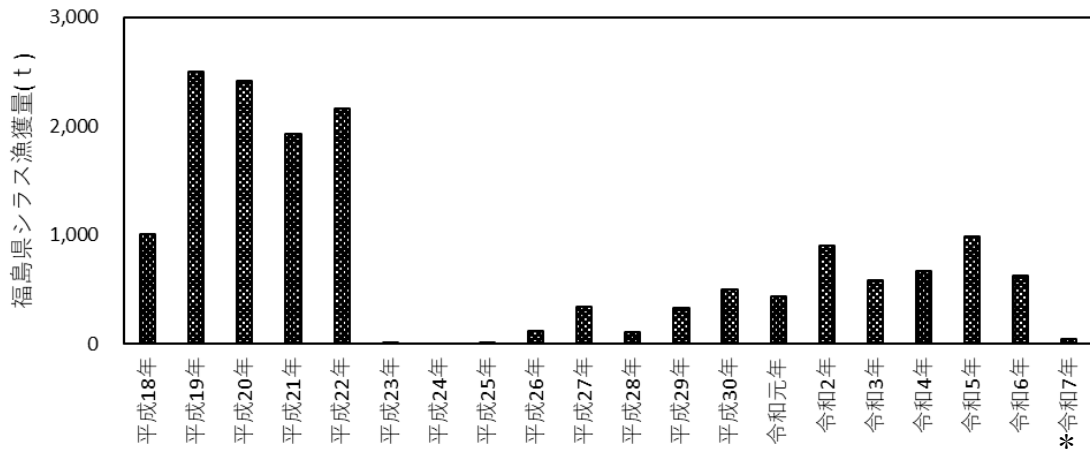


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*1月31日までの速報値